

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



暖かかったり寒かったりしながらも、やっと寒気がゆるみ始めましたね。1ヶ月遅れで咲いた梅の花が今まさに満開です。

さて、新しくなったやすらぎ通信は如何でしたか？
今回から順次、大切な仲間を紹介させていただきますね。どこかでお会いしたら声を掛けてください。
きっと喜びます。
まず最初は、

お客様担当の佐藤です

みなさんが家づくりを計画される際、
たぶん一番最初にお話させていただくのが私です。
土地の相談からプラン作成、そして
資金計画までご提案させていただきます。



お施主様と何度も打ち合わせを重ねて、ついに完成したお住いをお引渡す際にいただく、笑顔と感謝の言葉は、それまでの苦勞がどこかへ飛んでいってしまうほど、本当に嬉しいです。

無理難題も遠慮なくぶつけてください。

大好きなお酒(酔えればなんでも OK、でもアル中ではありませんよ)と、スパゲッティ(古い・・・今はパスタ。意外ですか?)で体力を保持し、趣味の将棋・囲碁の対局観戦で培った知恵をフルに活用して、ご希望に沿うよう頑張ります！

お施主様の笑顔をたくさんいただくために。

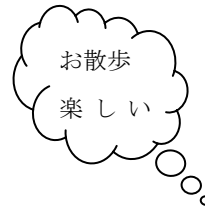
そして、休日の最大の楽しみ・・・それは3歳になる女の子の孫との散歩。

手をつなぎながら、家の近所を2時間ほどかけて歩きます。

楽しいですよ！！

これは全く想定外のことで、この私自身が一番びっくりしています。

変われば変わるものですね。



感動、勇気、そして笑顔をありがとう！！

宣 誓

東日本大震災から1年、日本は復興の真っ最中です。被災をされた方々の中には、苦しくて心の整理がつかず、今も、当時のことや、亡くなられた方を忘れられず、悲しみにくれている方がたくさんいます。

人は誰でも答えのない悲しみを受け入れることは苦しくてつらいことです。

しかし、日本が一つになり、その苦難を乗り越えることができれば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。

だからこそ、日本中に届けましょう。

感動、勇気、そして笑顔を。

見せましょう、日本の底力、絆を。



これは、去る3月21日の全国高校野球大会の開会式で読み上げられた選手宣誓です。

諦めず前進していこうという力強い言葉に、励まされた人も多いのでは？

私も感動しました。

仲間外れにされたけれど・・・

今回は、ある4人家族の話です。

30代の夫婦と2人の兄弟。1人は10歳、1人は8歳でした。



ごく平凡な家族なのですが、10歳のお兄ちゃんは重度の食物アレルギーを持っていて、食べ物も好きに食べられないという状態でした。

そんなある日、弟が学校でいじめられて帰ってきました。

母親は驚いてその理由を聞くと、弟は言いました。

「僕だけファミレスに行ったことがないからって仲間外れにされた・・・」

実はお兄ちゃんのおアレルギーのため、弟はファミレスどころか、外食もしたことがない、という状況でした。それを聞いてショックを受けた母親は、父親と相談して、彼を一度ファミレスに連れて行くことに決めました。

そしてある日、家族4人でファミレスに行き、席に着きました。すぐに店員が注文を取りにきました。

母親は店員に、「日替わりランチ2つとお子様ランチを1つ下さい。」と頼みました。

すると店員は、「お子様ランチ1つですか？」と尋ねました。母親は「はい、1つでお願いします。実は、下の子がファミレスに行ったことがないとクラスでからかわれてしまって・・・。一度ぐらい連れてきてあげてもいいんじゃないかと思って連れてきたんです。

と言うのも、上の子が食物アレルギーで食べるものも制限されているんです。それでも子供たちにはできるだけ不自由な思いはさせたくないと思って連れてきました。」

「さらに失礼なお願いなのですが、上の子には家から持ってきた、これをここで食べさせてもかまわないでしょうか？」と、母親はかばんから食材の入ったタッパーを遠慮がちに取り出しました。

当然、ファミレスに食べ物を持ち込むということは食中毒などの店側の衛生管理の問題により、本当はダメだということを母親は承知していました。

ここで断られたらどうしようと、母親はひそかに心配していたのです。

すると店員は、「そうですか・・・」と言った後、母親に「私にそのタッパーを渡してください」母親は、「えっ」と思い、やっぱりダメか・・・と落胆しながらも店員にタッパーを渡しました。

しばらくして両親が頼んだ日替わりランチと、国旗が付いている弟のお子様ランチが運ばれてきました。弟は喜んでいますが、両親は素直に喜ばませんでした。

が、次の瞬間、もうひとつの料理が出てきたのです。それはまぎれも無く、あのタッパーの中の料理でした。

お皿の上にきれいに盛り付けされ、真ん中には国旗まで立っています。

「はい、これがお兄ちゃんのお子様ランチだよ。」その店員の思いがけない言葉と嬉しそうに喜んでいる兄弟の姿を見て、両親は涙が止まりませんでした。

店員さんの機転が、家族皆を幸せにしてくれたという心温まる話、如何でしたか？

「編集後記」

3月というと、どうしても東日本大震災を思い出してしまいます。思うように復興が進まない中、あの日以来「時」が止まってしまったまま辛い毎日を送られている方たちを思うと胸が痛みます。

お身体くれぐれも大切にお過ごしください！春はすぐそこまで来ています。

ご意見・ご感想お待ちしております。

メールは info@ysrg-wh.com 。

FAXは03-3959-8797まで

編集責任者：渡辺 田鶴子

電話：03-3959-8743